

進路だより



富岡特別支援学校

移行支援部 No.9

令和8年2月18日

令和7年度高等部3年生 進路決定までの歩み

3月2日に高等部の卒業式が行われ、3年生が卒業します。卒業後はそれぞれ新たな道へと進んでいきます。今回は、今年度の高等部3年生の進路先が決まるまでの歩みをご紹介します。どのような現場実習先へ行き、どのような経緯で進路が決まったのかを表にまとめました。高等部の方々だけでなく、小学部や中学部の児童生徒や保護者の皆様にも参考にしていただけたらと思います。

生徒【進路先】		Aさん【生活介護】	Bさん【B型事業所】	Cさん【特例子会社】
実習先	2年生	1学期 生活介護 ・作業(バリ取り、ワッシャーはめ、箱折り、くじ折り、清掃)	就労継続支援B型事業所 ・タオル畳み、ワッシャーはめ、缶バッチの作業、農業	就労継続支援A型事業所 ・缶バッチの袋詰め、バリ取り、農作業(水耕栽培)
		2学期 生活介護 ・作業(部品入れ、ラップはがし)、創作活動	就労継続支援B型事業所 ・施設外清掃、部品の組立て	就労継続支援A型事業所 ・ボールペンの検品、健康食品の袋詰め
		3学期 生活介護 ・作業(部品の組立て)、余暇活動	特例子会社 ・農業、養蚕、和紙の原料づくり	特例子会社 ・農業、和紙の原料づくり
	3年生	1学期 生活介護 ・自立課題、余暇活動	就労継続支援B型事業所 ・レタスの水耕栽培、畑作業、運動	特例子会社 ・農業、養蚕
		2学期 生活介護 ・創作活動、運動 ※グループホームの見学、体験利用	就労継続支援B型事業所 ・レタスの水耕栽培、畑作業、運動	特例子会社 ・農業、養蚕
		決定までの流れ	・障害支援区分の認定手続き→判定 ・市町村福祉課に障害福祉サービス利用希望提出→支給決定	・市町村福祉課に障害福祉サービス利用希望提出→支給決定
進路決定までの経緯		<p>毎回異なる生活介護事業所で実習を行いました。18歳の誕生日を迎えてから、ご家庭で自主的に福祉課と手続きを進め、障害支援区分の認定手続きを行いました。</p> <p>現場実習と同時進行でグループホームを見学・体験し、住まいや通所方法、日中活動の場所を検討し、通所事業所を決めました。</p>	<p>様々な事業所で現場実習をし、評価をいただき話し合い、進路の方向性を決めていきました。実習をしてみ感じた、周りの人の雰囲気や居心地から、本人が納得いくB型事業所に就労を決めました。</p> <p>★B型事業所で働くためには、就労アセスメント(就労能力や適性、課題を評価するための状況把握)が必須です。</p>	<p>A型から現場実習を始め、経験を積み、特例子会社に挑戦しました。大変さよりも楽しさややりがいを感じ、「ここに就職したい」という強い思いをもちました。</p> <p>課題を改善するために、日々努力を重ね、就労先を決めることができました。</p>

1月10日 同窓会・20歳を祝う会が行われました。

多くの卒業生が参加し、ビンゴ大会をしたり思い出の写真を見たりして楽しく過ごしました。20歳を迎えた卒業生に対して、進路先での様子をインタビューしたので、一部を紹介いたします。

Aさん「働きながら資格を取って、スキルアップをしています。」

Bさん「運転免許を取って、車で仕事に行っています。」

Cさん「仕事を頑張っています。余暇活動の散歩も楽しんでいます。」

Dさん「卒業したときは生活介護事業所とグループホームに入りました。今はグループホームを変えて、日中もそこで過ごしています。新しい場所で落ち着いて生活しています。」

Eさん「A型事業所からB型事業所に移りました。新しい職場で頑張っています。」

卒業後みなさんが、それぞれの環境で頑張っていることが伝わってきました。



令和7年度卒業生
20歳を祝う会

令和8年1月10日(土) 群馬県立富岡特別支援学校